2013年度生

[理工学部] 数理システム学科

中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(情報)

※ 中一種免(数学), 高一種免(数学)とも p. 171~174 を参照。

※ 高一種免(情報)は p. 171~173, 175 を参照。

第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)……………	p.171
第②欄(教職に関する科目)……………	] p.172~173
第③欄(教科又は教職に関する科目)……………	
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))……………	] 数学… p.174 情報… p.175
第⑤欄(教科に関する科目(選 択))……………	

[単位の履修方法]

	必要単位数		
	中一種免(数学)	高一種免(数学)	高一種免(情報)
第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)	9単位		
第②欄(教職に関する科目)	35単位	29単位	29単位
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))	28単位	28単位	26単位
上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択		4単位	6単位
合 計	72単位	70単位	70単位

数理システム学科 中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(情報)

日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作

	免許法施行規則に定める科目	本 学 基 準		
		科 目 名	単 位	履 修 方 法
第 ① 欄	日本国憲法	日本国憲法	2	2単位必修
		憲法 1	2	
		憲法 2	2	
	体 育	スポーツ・パフォーマンス 1 *	1	2単位必修
		健康の科学 *	2	
		スポーツの科学 *	2	
		スポーツと健康 *	2	
		トレーニングの科学 *	2	
	外国語コミュニケーション	コミュニケーション 1 *	1	必 修
		コミュニケーション 2 *	1	
情報機器の操作	情報処理入門	2	必 修	

*は全学共通教養教育科目

2013年度生 数理システム学科 中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(情報)
教職に関する科目, 教科または教職に関する科目

	免許法施行規則に定める科目区分等		本学基準		
	科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数	履修方法
第②欄 (教職に関する科目)	教職の意義に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2	必修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	必修
		・幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	発達と学習の心理学	2	必修
		・教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	学校経営と法規 教育社会学(1) 教育社会学(2)	2 2 2	1科目必修
			人権教育論	2	必修
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2	必修
		・各教科の指導法	① 教科教育法A1(数学)	2	中一種免(数学)および中高両方の場合は①③④ 高一種免(数学)のみは③④ 高一種免(情報)は⑤⑥が必修
			② 教科教育法A2(数学)	2	
			③ 教科教育法B(数学)	2	
			④ 教科教育法C(数学)	2	
			⑤ 教科教育法A(情報)	2	
			⑥ 教科教育法B(情報)	2	
	・道徳の指導法	※ 道徳教育の理論と実践	2	中一種免のみ 必修	
	・特別活動の指導法	特別活動論	2	必修	
	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	視聴覚教育	2	選択	
		教育方法論	2	必修	
生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修	
	・進路指導の理論及び方法				
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 学校カウンセリング	2 2	1科目必修	
教育実習		教育実習指導	1	必修	
		教育実習 A	2	中一種免および中高両方の場合「AとB」または「C」が必修, 高一種免のみは「B」が必修	
		教育実習 B	2		
		教育実習 C	4		
教職実践演習	教職実践演習(中・高)	2	必修		
第③欄	教科または教職に関する科目	※ 道徳教育の理論と実践	2	高一種免のみ選択	

※ 「道徳教育の理論と実践」は中一種免では必修科目, 高一種免の場合は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

[教職科目の設置学科 (なお, 下記以外の科目は社会学部・心理学部設置)]

- * 「教科教育法A1(数学)」, 「教科教育法A2(数学)」, 「教科教育法B(数学)」, 「教科教育法C(数学)」…機械システム工学科, エネルギー機械工学科
- * 「教科教育法A(情報)」, 「教科教育法B(情報)」…インテリジェント情報工学科
- * 「教育実習指導」, 「教育実習A」, 「教育実習B」, 「教育実習C」, 「教職実践演習(中・高)」…機能分子・生命化学科
- * 「人権教育論」, 「教育課程論」…理工学部すべての学科

[注] 1. 取得しようとしている教科の教科教育法以外の教科教育法を修得しても, 免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄には単位数として算入できないので注意して登録すること。

2. 中一種免と高一種免の両方の免許を取得しようとしている場合, 教育実習Cを履修することによって, 高一種免の第②欄の必要な単位数を2単位オーバーすることになるが, この2単位は免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄の単位数には算入できないので注意して登録すること。

2013年度生 数理システム学科 教育実習条件科目について
中一種免(数学), 高一種免(数学), 高一種免(情報)

1. 教育実習の時期と期間

① 中学校教諭免許のみ または 中学校・高等学校教諭免許両方を取得する場合

イ. 「教育実習C」・・・ 4年次に3週間または4週間で課す実習校

ロ. 「教育実習A」と「教育実習B」・・・ 3年次・4年次それぞれ2週間の教育実習を課す実習校

(基本的には、イの4年次に実習を行う「教育実習C」になります。)

} イまたはロのいずれかの教育実習が必要です。

② 高等学校教諭免許のみを取得する場合

「教育実習B」・・・4年次に2週間の教育実習が必要です。

2. 教育実習条件科目

下欄の表の ○印の科目 および 指定された教科教育法が条件科目になります。

* どの教科の免許を取得するか, 教育実習がどのタイプかを確かめて条件科目を確認してください。

* 学部生の基準で年次を入れていますが 大学院生, 科目等履修生の場合も「教育実習A」、「教育実習B」、「教育実習C」を登録する前年度末までに必ず条件科目の単位を取得してください。教育実習を履修済みの学生が再度実習に行く場合の条件科目については、免許資格課程センター事務室に確認してください。

<教育実習条件科目>

		教職概論	教育原理	発達と学習の心理学	① 教科教育法 A1(数学) ② 教科教育法 B(数学) ③ 教科教育法 C(数学) ④ 教科教育法 A(情報) ⑤ 教科教育法 B(情報)	教育実習 A	人権教育論
中一種のみ または 中一種・高一種 両方の免許を 取得する場合	イ 教育実習C 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	①②③のうち いずれか1科目		○
	ロ 教育実習A 条件科目 (2年次末までに取得)	○			①		
	教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)		○	○		○	○
高一種免許 のみを 取得する場合	教育実習B 条件科目 (3年次末までに取得)	○	○	○	教育実習が 数学の場合は②③の, 情報の場合は④⑤の, いずれか1科目		○

※ 条件科目以外の教科教育法についても3年次末までに履修しておくことが望ましい。

[注]1. 教育実習の条件科目としては1科目以上(指定あるいはいずれか)必要。

2. 免許を取得するためには免許・資格関係履修要項の第②欄の教職に関する科目の履修方法に従ってそれぞれの教科に関するすべての教科教育法を修得しなければならないので、注意して登録すること。

3. 数理システム学科生については、「教育実習A」、「教育実習B」、「教育実習C」を登録する前年度末までに1年次必修の「解析学Ⅰ・Ⅱ」、「線形代数学Ⅰ・Ⅱ」、「数学演習Ⅰ・Ⅱ」の6科目の単位を修得していることを条件とする。

上記以外にも教育実習を行うための履修資格(P. 14 V. 教育実習(2)履修資格)が記載されているので、確認すること。

2013年度生 数理システム学科 中一種免(数学), 高一種免(数学) 教科に関する科目

第④欄	(必修・選択必修科目) 教科に関する科目	免許法施行規則に定める科目	科目名	単位	履修方法
		代数学	線形代数学Ⅰ	2	必修
			線形代数学Ⅱ	2	
		幾何学	幾何学Ⅰ	2	これら4科目から2科目 4単位選択必修
			幾何学Ⅱ	2	
			ベクトル解析	2	
			集合と位相	2	
		解析学	解析学Ⅰ	4	必修
解析学Ⅱ	4				
「確率論, 統計学」	確率・統計基礎	2	必修		
	確率・統計Ⅰ	2	これら2科目から1科目 2単位選択必修		
	確率・統計Ⅱ	2			
コンピュータ	数理システム演習Ⅰ	2	必修		
	数理システム演習Ⅱ	2			
	数理システム演習Ⅲ	2			
	コンピュータ入門	2			
第⑤欄	教科に関する科目(選択科目)		代数学Ⅰ	2	選択
			代数学Ⅱ	2	
			整数論	2	
			応用代数学	2	
			計算代数Ⅰ	2	
			計算代数Ⅱ	2	
			応用幾何学	2	
			数理モデル	2	
			微分方程式	2	
			複素解析	2	
			フーリエ・ラプラス解析	2	
			積分論	2	
			応用解析学	2	
			応用微分方程式	2	
			応用数学Ⅰ	2	
			応用数学Ⅱ	2	
			数理統計	2	
	金融・投資の統計科学	2			
	コンピュータと数学	2			

2013年度生 数理システム学科 高一種免(情報) 教科に関する科目

		免許法施行規則に定める科目	科 目 名	単 位	履修方法
第 ④ 欄	(必修・選択必修科目) 教科に関する科目	情報社会 及び 情報倫理	情報と社会 *	2	必修
		コンピュータ 及び 情報処理 (実習を含む。)	コンピュータプログラミング I コンピュータプログラミング II 情報処理入門 デジタル制御・同演習 情報処理実習	2 2 2 2 1	必修
		情報システム (実習を含む。)	※ データベースシステム 情報システム工学 情報システム実習	2 2 1	必修
		情報通信ネットワーク (実習を含む。)	※ コンピュータネットワーク ※ 情報セキュリティ 情報通信ネットワーク実習	2 2 1	必修
		マルチメディア表現 及び技術 (実習を含む。)	情報メディア 情報メディア実習	2 1	必修
		情報と職業	情報と職業	2	必修
		第 ⑤ 欄	教科に関する科目(選択科目)		認知情報処理
	デジタル集積回路			2	
	数値解析 I			2	
	数値解析 II			2	
	離散数理			2	
	プログラミング言語			2	
	※ 知識情報処理			2	
	数理計画法			2	
	ネットワーク応用			2	
	ワイヤレス通信			2	
	コンピュータグラフィックス			2	
	画像処理			2	
	視覚情報処理	2			

*は全学共通教養教育科目

※ 「データベースシステム」、「コンピュータネットワーク」、「情報セキュリティ」、「知識情報処理」はインテリジェント情報工学科設置